

---

Yourhappy?oranhappy? **（貴方は幸せ？それとも不幸せ？）**

光琉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Your happy? or an happy?  
（貴方は幸せ？  
それとも不幸せ？）

### 【Nコード】

N3680H

### 【作者名】

光琉

### 【あらすじ】

あなたは今幸せなのか…不幸せなのか…仲間が居るって事は素晴らしいですね。

俺はいつまで我慢すればいいんですか？俺はいつまで生きていたらいいんですか？どうして貴方は俺も連れていってくれなかったんですか？

先生待つて！行かないで！先生！！！

am5:00 ガバツ！

「ハアハア。はあく。最悪」今日は10月10日。木の葉の里を九尾の妖狐が襲った日。たくさんの人が死んだ日。そして、妖狐から里を救い、自分の子に妖狐を封印した、四代目こと、

「ミナト先生の命日と慰霊祭の日：」そして妖狐を封印された、ナルトの13歳の誕生日：。カカシは、何時ものように忍服を着て、額あてをし、家を出る。行くところは毎日欠かさず行く慰霊碑のところ。その頃七班の子供達は集合場所に向かって歩いていた。：

「今日の集合つて6時で第三演習場（サバイバル演習で使った。）よね？」

「どーせ先生遅れてくるつてばよ。それよりさ、それよりさ！今日俺、誕生日なんだ！」

「そうなの？おめでと。」

「おめでと。」

「ありがとーサクラちゃん。サスケ。」

「（サスケ君今日もカツコイイわー）」

「なあなあサクラちゃん。あれつてカカシ先生だよな？」ナルトが指差したのは、慰霊碑にたたずむ銀髪の人だった。

「そーみたいね。なにやってるか見に行きましょ（こーゆーのつて気になるのよね）。しゃーんなるー！」三人はこそそとカカシ

に一番近い木の上に隠れる。

「……………」

「何て言ってるのかしら？」

「今日はナルトの誕生日ですよ。先生が死んだ時の俺の歳と同じになっただんですよ。」

「……………!!」

「つい最近まで赤ん坊だったナルトがもう十三歳なんてね。今日も一日あいつらを守って下さい。先生…今日は死にたいなんて言いませんよ。」

「……………」

「今日は早くいってみようかな？ナルトとサクラに雨が降るかもとか言われたりして。」

「先生！どうしたんだってば？こんなはやくに」

「雨でも降るんじゃないかしら。」

「フン。」

「ちよつとね。」突然慰霊碑が光だす。

「……………うわっ……………」シュウウウ。光がおさまってきて慰霊碑の前に人影が現れる。

「う〜ん成功かな？」

「な、なんなんだ？」

「もー先生有り得ない!!」

「せ、先生！？にフガクさんにリン!？」

「と、父さん!？」

「まさか、カカシ君」「ビヨンツ。バシッ。」

「いきなり飛びついて来ないで下さい。」

「だからっっておでこ抑えるのはひどくなあ〜い?ぶ〜ぶ〜」

「酷くない」「ごすっ」

「いったあ。リン、頭に肘鉄は止めてよ〜。」

「うるさいっ！カカシの肌に傷がついたらどーすんのよっ。」

「ち、ちよつと待って！なんで生き返ったのか説明してよ!…!!」

「ああ、カカシが俺が死んで、慰霊碑に名を刻んでから、毎日慰霊碑にきてたでしょ？その時さ、どうして俺も連れていってくれなかったのとかいうから、カカシ君死なしたりしたくないし、だったら俺が生き返っちゃうか」と思っ、術を開発して使ってみただ。そしたらリンとふくさんもついてきて…」

「ふくさんって呼ぶな。」

「あれ皆してなんでボ―然としてるの？」

「もーなんなんですか〜！！！！」

「えっ！？カカシ君幸せにならない！？」

「全然ですよ。疲れるだけじゃないですか。てか、ナルトの方に行きなさい。」ゲシッ

「えっ ナル君！？うわ〜大きくなって〜。」

「うわっなんだってばよ〜！！」

嘘ですよ。先生。俺今、とつても

幸せです。

END

(後書き)

すみません(´▽`) m文才なくて…でも読んで頂けて嬉しかったです！ありがとうございます！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3680h/>

---

Yourhappy?oranhappy?（貴方は幸せ？それとも不幸せ？）

2010年10月21日20時53分発行